



## アジアの若者たちに仕える

国際キャンプ委員 黒田信正

第8回東西アジア・スクリプチャー・ユニオン (SU) 青少年国際キャンプ (International Students Camp; ISC、2019年12月25日～2020年1月3日) に、日本から24名のキャンパー、6名のオフィサー (ISCではスタッフをオフィサーと呼びます) で参加してきました。今回も様々な試練はありましたが、本当に恵みにあふれた素晴らしいキャンプでした。お祈りに感謝します。私はオフィサーとして3回目の参加で、今回は日本チームの引率リーダーとして奉仕させていただきましたが、ここではISCそのものの報告ではなく、なぜ私がISCに関わるようになったか、どのような導きをもって関わっているかについて、お証しさせていただきたいと思います。



黒田信正兄 (右) とコー・アン  
スー氏 (SU マレーシア総主事)

私は、当時お付き合いをしていた妻に導かれてイエス様に会い、1996年3月、28歳の時に洗礼を受けました。その後、結婚。子どもの相手が好きだったこともあって、しばらくして教会学校に関わるようになりました。さらに2人授かった子供のうち、上の息子が中学生になる直前からCSKキャンプにも関わることになり、中高生の働きに重荷を持ちました。一方、仕事では自動車会社に勤め、アジア地域の担当をしていたことから、出張でアジア各国へ多く訪れていました。特にインドネシア、タイに合わせて40回くらい出張し、その国に暮らす人々、その国での生活に親しみを覚えていました。

そんな中、CSKキャンプで関わっていた当時の聖書同盟総主事の小山田先生から、「黒田さん、国際キャンプというのがあるのですが、興味はありますか?」と声をかけられました。仕事でのアジアの経験もご存知の上でのお誘いでしたが、私は非常に興味を引かれ、当時中学3年生だった息子も「ぜひ行きたい」というので、インドネシアで行われた第6回ISCに親子2人で参加することになりました。中学生から大学生までのキャンパーたち、様々な年代のオフィサーたちとともに参加したISCは、私の想像以上にエキサイティングで、また、「アジアにはこんなにたくさんの熱心なクリスチャンの若者がいるんだ!」ということに衝撃を受けました。CSKキャンプも同様ですが、キャンプという非日常、さらに海外という特別な環境でキャンパーたちは成長し、神様に変えられていきます。若者たちの成長に関わることができるのは、キャンパー自身はもちろん、スタッフにとっても他では得難い恵みです。

そしてそこで神様から与えられたのが、「アジアの若いクリスチャンたちのために、何かをしたい」、「この熱量を日本の若者に届けたい」という思いでした。これまで神様への奉仕と、自分が仕事で経験してきたことは直接つながっていませんでしたが、ISCで神様から与えられた思いは、「これまでの経験を活

用してアジアの若者に仕えること」、「それを日本の若者につなげること」でした。日本の、そしてアジアの次世代を担うクリスチャンが成長する助けになりたい。

その思いもあって、ISC の参加も今回で3回目。また昨年から聖書同盟に常設された、国際キャンプ委員会の委員として奉仕させていただいています。そして今、与えられている大きな祈りの課題が、いつか ISC を日本で開催することです。さらにもっとチャレンジングなことです。他の国の参加者には日本にいる間の負担なしに参加してもらえようようにしたい、と祈っています。日本で開催するだけでも、今の聖書同盟の人員や資金状況では難しい。これを実現するには、これまでの ISC に参加してくれたキャンパーたちが成長して、奉仕者として働いてくれるようになること、そして必要な資金が与えられることが必要です。そのためにたくさんの祈りが積み、たくさんの支援が与えられるように祈ります。ぜひこれを読んでいる皆さんも祈りに覚えていただければ感謝です。

日本福音キリスト教会連合 (JECA)  
千歳烏山光の子聖書教会教会員  
CSK インキャンプスタッフ

## すばらしいキャンプでした！

### 第8回青少年国際キャンプレポート 総主事兼 CSK 主事 嶋田博考

青少年国際キャンプのために、お祈りとご支援、ご協力をありがとうございました。引き続き、東西アジアの宣教協力を覚えて、お祈りいただければ感謝です。

青少年国際キャンプは、東西アジアにある国と地域のスクリプチャー・ユニオン (SU) が協力して開催するもので、3年に一度の開催です。第8回のキャンプが、昨年12月26日(木)から今年1月1日(水)にかけて持たれたばかりで、マレーシアが開催国でした。マレーシアの首都はクアラルンプールですが、北にあるペラ州のタパーというところでした。会場は SUFES キャンプ場という自然に恵まれたキャンプ場でした。ちなみに、SUFES の SU はスクリプチャー・ユニオンの SU、FES は大学生伝道の団体で、日本でい



う KKG (キリスト者学生会) です。マレーシアでは、聖書同盟と KKG が働きをともにして、事務所の建物もキャンプ場も共有しています。

さて、日本からの参加者は30名。成田空港からクリスマスの日である12月25日(水)の夜に出発し、1月3日(金)の朝に帰国しました。キャンパーは、中学2年生から大学2年生までの年齢で、関東、関西、名古屋、宮崎、熊本から集まりました。引率スタッフはキャンプの中ではオフィ

サーと呼ばれ、参加したのは6名でした。

ほとんどすべて英語でプログラムが進みます。英語のできる日本の引率スタッフの通訳によりFM ラジオを通して聞くこともできました。朝のデフォーションでは旧約聖書のネヘミヤ書を学び、プログラムの中では新約聖書のコロサイ人への手紙を学びました。イエス様を信じる者としての歩みがどのようなものか教えてくださるゲストの方々から、証しを聞く時間もありました。

自然に恵まれた環境でしたので沢登りを経験しました。澄んだ流れを登山のように上流に向かって進むのです。また、別の日には洞窟探検も経験しました。巨大な洞窟を、ヘルメットをかぶり、ライトを持って暗闇を歩いていきます。洞窟の中を流れる川に浸かりながら、狭い空間を進む場所もありました。みことばにある「暗闇に光」を覚えながら、人生について、イエス様と歩むことについて経験を通して教えられます。

マレーシアの食事を楽しめた人も、いつも食べるものと違ってあまり食べられないという人もいました。英語に疲れて同じ国の人と母語で話す場面もありますが、他の国の人にはまったく意味がわかりません。これらのことすべてを通して、自分と違う文化の中で生活しているけれども、確かにイエス様に愛され、またイエス様を愛して生きている人たちがいることを実感します。

キャンプ最終日には断食があります。食事をし



沢を登る

ないことが目的ではありません。昼食が出ないのですが、どうしても空腹な人は申し出ることができます。これは、キャンプで神様に語られたことを思い巡らし、神様の前に信仰の決心をする静かな時を過ごすためです。信仰の決心もだれからも強制されません。神様と語り合う時間なので他の人とは話しません。以前、キャンプに参加したことのある人は、この時間が最も充実した大切なときだと言います。この後は食事をして、夜はそれ



断食の時間 主の前に静まる

ぞれの国の衣装に着替えて楽しく過ごします。キャンドルに火を灯して新年のカウントダウンをしたことも思い出に残りました。

全部で12か国から参加がありました。参加したキャンパーたちは、イエス様を信じる人にもまだ信じていない人にも、その生き方によって影響を与えるリーダーのあり方を学びました。帰国後もそれぞれの信仰が守られ、主に用いられるようにお祈りいただければ幸いです。

SU 韓国とともに、日本とコンパニオンシップを結んでいるトルコのSUからも参加がありました。Yくんです。トルコの首都であるイスタンブールに住んでいます。SU トルコで働く韓国からの宣教師は3人います。働きを中心となっているSさんは、以前のニュースレターで紹介しました。

さらに女性の方と男性の方がいます。今回男性のJGさんが、SU トルコの引率スタッフとして、Yくんを連れて来てくれました。サウジアラビア



で飛行機を乗り換える必要があり、トルコとマレーシアの時差は5時間だそうです。恥ずかしがり屋の性格のYくんで、移動や時差による疲れもあったと思いますが、次第にキャンプを楽しんでくれて、みんなの前で自分の考えを発表してくれました。

このように、日本のSUである聖書同盟は、東アジアにある国と地域のSUと協力して働きを進めています。祝福された青少年国際キャンプが開催できるのも、普段からこれらの国々と協力関係を保っているからです。具体的には毎年の分担金があります。これは東アジア各国のSUの連携を保ち、特に経済的な助けを必要とする国のために使われます。さらに、コンパニオンシップを結んでいる、イスラム国であるSUトルコの支援

をしています。

2018年12月に国際キャンプ委員会を聖書同盟の常設の委員会として設置しました。メンバーは、原雅幸師(委員長: JECA キリスト教たんばば教会牧師)、下村聖実姉(イムマヌエル綜合伝道団・イムマヌエル高津キリスト教会教会員)、黒田信正兄(JECA 千歳烏山光の子聖書教会教会員)です。キャンプ開催年ではない期間の活動は、諸教会の働きと青少年国際キャンプがさらに結びついたものであるようにし、東アジアにある国と地域との宣教協力の可能性を模索します。世界約130の国と地域のSUにいつも主の励ましと助けがあるように、また東アジアにおいてSU Japanである聖書同盟が与えられている役割を果たせるように、続けてお祈りいただければ幸いです。

## 総主事の嶋田です

聖書同盟 CSK の活動のためにお祈りくださっていることを感謝します。これからのことなど、お知らせします。祈りに覚えていただければ幸いです。



### 第52回CSK

#### 中学科教師研修会が開かれます

テーマ:「成長のステップに合わせたチャレンジ  
～学生伝道の現場から～」

教会の中高生会に期待すること、お願いしたいことを大学生伝道のスペシャリスト吉澤慎也 KGK 副総主事が現場目線で鋭く語ります。

日程: 2020年3月7日(土)

会場: 保守バプテスト同盟・御徒町キリスト教会

講師: 吉澤慎也 KGK 副総主事

プロフィール:

両親がクリスチャンの家庭で育ち、中学2年生の時にバプテストを受ける。現在 KGK 副総主事・学生宣教



局長。JECA 宣教教会に出席。男の子3人の5人家族。「誰にでも分かりやすい聖書のメッセージを心がけています。」

参加費: 1,500円(学生・神学生1,000円)

申し込み・問い合わせ

Tel: 044-900-8990(伝道部、CSK)

Fax: 044-900-9048 E-mail: info@sujp.org

### CSK 春キャンプの開催

中学1年生となる小学6年生を新しく迎え、卒業する高校3年生を送り出すキャンプです。新しい生活でも聖書に親しむことを励まし、夏のキャンプの参加につながるようにと願います。

#### ・CSK キャンプ(イン・アウトキャンプ合同)

日程: 3月29日(日)～30日(月)

会場: 東京カベナント教会

講師: 大高伊作師(JECA 佐倉福音キリスト教会牧師)

#### ・関西地区CSK キャンプ

日程: 3月30日(月)～4月1日(水)

講師: 加藤勇介師(日本同盟基督教団・東広島めぐみめぐみ教会牧師)

多くの教会から、スタッフとキャンパーの中高生

が与えられて、神様の祝福に満ちあふれたキャンプになるようにお祈りください。

### スモールグループ・セミナー さらに、豊かに、みことばに

聖書同盟と聖書を読む会、日本ウィクリフ聖書翻訳協会の三団体が協力して、10月10日(土) 10:00~15:00に、お茶の水クリスチャン・センター8階チャペルでスモールグループ・セミナーを開催します。聖書のみことばを分かち合って深く豊かに学ぶことがテーマです。詳細は次号にてお知らせします。今から予定に入れていただき、どうぞご期待ください。

### 事務所スタッフのためにお祈りください

青少年伝道の働きを担当する大條瑛子 CSK 協力主事と、事務管理を担当する武藤潤子協力主事が3月をもって退任します。2年間の働きでした。前号でお伝えした山守眞由美姉とともに、これからの歩みのために主の祝福をお祈りください。4月から事務所で働く者たちは、加藤かおり姉(上水めぐみキリスト教会)、広沢真理子姉(キリスト教朝顔教会)、末武美花姉(OMF ザ・チャペル・オブ・アドレージョン)、稲垣博史師(協力主事/理事長)と総主事兼 CSK 主事の嶋田です。引き続きお祈りください。

「E100 チャレンジガイド これだけは読みたい聖書100箇所」をごぞんじですか。

教会での聖書研究会や家庭集会に使いやすいということで、多くの教会で使われています。個人での学びとグループで分かち合う学びを組み合わせ、選び抜かれた100箇所を読みながら、聖書全体が何を語っているかを学ぶテキストです。

<定価(本体)800円+税>



### 退任のご挨拶

CSK 協力主事 大條 瑛子

いつもお祈りに覚えてくださり、ありがとうございます。

この度、3月をもちましてCSK(中学生聖書クラブ協力会)協力主事の働きから退くこととなりました。主のあわれみのうちに、働きを続けて来ることができたこと、母教会であるぶどうの樹キリスト教会の兄姉をはじめ、支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。

「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。」(ヨハネ6:27)のみことばが与えられてから祈りつつ、一昨年の春に5年間勤めた玉川聖学院(玉聖)の事務職を退きました。その後すぐ、聖書同盟CSKの働きに導かれました。聖書宣教会で聴講しながら、授業のない日をCSKの働きに充てました。霊的、人格的に優れた先生方から教えられ、様々な場所へ訪問し宣教の実際の場で良い経験をさせていただきました。私のような者に忍耐を持って関わってくださった嶋田総主事に感謝しています。聖書同盟では長いことCSK主事不在で、嶋田総主事が兼任されて来ました。総主事の負担が大きい中で、一人以上のCSK主事を立てるとということが依然として聖書同盟の課題です。

昨年の春、フルタイムのCSK主事として働くために教会を母体とした支援会の立ち上げに向けて話しが進んでいきました。そのままスムーズに事が進んでいくと思われましたが、実際はうまくいかずに神様から焦ってはいけないとストップがかかったように感じました。そこで一度立ち止まって自身の状況を見つめ直す時間をいただきました。いくつかの事柄を整理していく中で、CSKの働きから離れて、みことばの学びに集中しようという思いに至りました。そして、神様からそのような促されていることを確信し、聖書宣教会・聖書科への進学を決断しました。この度入会が許され、春から神学生となります。

「自分たちの召しと選びを確かなものとするように、いっそう励みなさい。」(IIペテロ1:10)と勧められています。これまでも、漠然としていた宣教の思いが、所属教会のCS(教会学校)や玉聖での中高生との関わりによって若い世代への伝道へと向けられ、一步一步確かにされて来ました。次へ進む大事なステップとしてCSKの働きが与えられたことも、主の良き備えであったと思われています。

引き続き、この者が主のみこころに歩めるようお祈りに覚えていただければ幸いです。

2019年度会計報告（お祈り・ご支援感謝します）

伝道部 2019 年度中間報告(2019 年 4 月～2019 年 9 月)			
収入	予算	実績	達成率(%)
聖書通読運動支援献金	4,180,000	2,200,433	52.6
GSK 献金	2,065,000	1,099,185	53.2
ジュニみこ献金	40,000	6,000	15.0
東西アジア SU 支援献金	450,000	217,800	48.4
視聴覚活動指定献金	130,000	5,000	3.8
トルコ SU 支援献金	60,000	27,000	45.0
主事支援特別献金	200,000	96,718	48.4
はじめての聖書通読支援	700,000	15,000	1.4
献金収入の合計	7,825,000	3,667,136	46.9
雑収入(受取利息含む)	2,000	3,120	156.0
収入 合計	7,827,000	3,670,256	46.9
支出	予算	実績	達成率(%)
対外協力費	323,000	122,991	29.8
人件費	4,387,000	2,425,968	52.6
事務管理費	1,572,000	599,565	37.6
活動費	1,260,000	426,708	37.1
その他	285,000	86,214	49.0
支出 合計	7,827,000	3,661,446	46.8
収支差額	0	8,810	

理事長の窓

稲垣博史

2020年1月に「みことばの光」執筆講習会を行いました。執筆者の先生方とともに、より充実した聖書通読誌を作成したいと、研鑽の時を持つことができました。

そのプログラムの中で、私は「聖書同盟・戦前、戦後の歩みからのチャレンジ」という題で、特に聖書の翻訳と聖書通読運動との関わりについて話しました。

1883年(明治16年)に聖書同盟の前身である「聖書之友」が誕生し、日本で最初の聖書通読運動が始められたのは、当時の宣教師や日本人クリスチャンたちによって進められた聖書翻訳事業により、旧約聖書に先んじて新約聖書が刊行されてから2年後のことでした。また、戦後聖書同盟が「みことばの光」を発行し始めたのは、1953年に口語訳聖書が刊行された2年後のことでした。

この数年、いくつかの新しい日本語聖書が刊行されています。この機会にこそ、多くの方々が聖書に日々親しみ、神の愛と力に満たされて、日々を歩むようになることを願わずにはいられません。

郵便振替払込用紙について

2019年4月にゆうちょ銀行(郵便局)の郵便振替払込用紙による払込手数料改定がなされ、1件当たり70円手数料が上がりました。聖書同盟CSKでは赤い払込用紙(手数料は団体負担)を同封させていただいています。もし手数料負担軽減にご協力くださる場合は、同封の青枠の払込用紙(手数料は送金者負担)をご利用くださることができます。もちろん、今まで通り、赤枠の払込用紙をお使いいただいても問題はありませんので、ご了承ください。

発行：一般社団法人 聖書同盟 Scripture Union Japan  
 〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町 432-304  
 TEL 044-900-9047(出版部) 044-900-8990(伝道部) FAX 044-900-9048  
 E-Mail info@sujp.org ホームページ <http://www.sujp.org/>  
 関西地区連絡所：〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘 1-32-8 TEL&FAX 06-6432-7556  
 武庫之荘めぐみ教会(松田吉広)  
 献金送金先 郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部  
 銀行口座：三菱 UFJ 銀行登戸支店(店番 258)普通 1138865 聖書同盟伝道部  
 出版物関係送金先 郵便振替：00140-4-57061 聖書同盟出版部